

# つくば市議会だより

# SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

9月定例会

No.168

令和3年(2021年)11月1日発行

発行：つくば市議会

編集：広報広聴委員会

一般質問	P 2~7
第2回臨時会	P 7
予算決算委員会審査	P 8~9
委員会審査・議案等審議	P10
議決結果・賛否	P11
特集	P12

つくば中心市街地  
まちづくり調査  
特別委員会

## 中心市街地のまちづくりについて 検討中!



つくば  
中心市街地  
まちづくり  
調査特別委員会

取り巻く環境が大きく変化しているつくばセンター地区の在り方について、調査検討している「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」では、令和2年12月に第2期発足以来、延べ13回の委員会・勉強会・現地視察を行ってまいりました。

現在は、まちづくり会社（つくばまちなかデザイン株式会社）の事業内容、センタービルリニューアル計画、公共スペースの活用などについての調査に取り組んでいます。



## 令和3年度議会報告会をオンライン開催します!



議会報告会

### 開催方法

YouTube「つくば市議会チャンネル」で配信します。

### 報告内容

定例会および臨時会の概要について報告します。

※ LIVE 配信ではありません。

※報告会は、個人または会派としての見解を述べるものではありません。



つくば市議会チャンネルにて  
2021年11月末公開予定

## 第2回臨時会ハイライト

議案審議 議案など4件を審議

## 9月定例会ハイライト

一般質問 21名の議員が白熱の議論を展開

議案審議 議案など28件、請願3件、意見書案4件を審議

## 12月定例会開催予定



12月定例会  
スケジュール

- 11月30日(火) 開会
- 12月7日(火) 一般質問
- 8日(水) 一般質問
- 9日(木) 一般質問・総括質疑・予算決算委員会
- 13日(月) 予算決算委員会(総務・文教福祉)  
総務委員会・文教福祉委員会
- 14日(火) 予算決算委員会(市民経済・都市建設)  
市民経済委員会・都市建設委員会
- 17日(金) 予算決算委員会
- 22日(水) 討論・採決・閉会



つくば市議会だよりが  
スマートフォンで読めます  
マチイロ





木村 修寿 議員

自民党政清クラブ



### 都市計画道路上河原崎東・西環状線について

**質問** 土地区画整理地区外の道路整備に着手することになりませんが、今後の予定や事業内容について伺います。

**答弁** 区域外の約410メートルについても、区域内と同時期(令和6年度)の完成を目指し、本年度に測量業務に着手しました。

**質問** 県道つくば真岡線などの幹線道路との交差点や中北地区、上河原崎地区への進入路との交差点についてはどのように考えているのか伺います。

**答弁** 上河原崎西環状線および

上河原崎東環状線と交差する県道つくば真岡線や市道3-2661号線については、道路構造や安全対策について道路管理業者である県および警察本部と協議の上、整備を進めていきます。また、当該道路と交差する、市道5-4099号線、市道5-4083号線などの市道については、地元区会などの意見や要望などを伺い警察署と協議の上、安全対策を講じていきます。

このほか、通学路の安全対策、公立幼稚園の3年保育について質問しました。



神谷 大蔵 議員

つくば自民党 新しい風



### 新型コロナウイルス感染症対策について

**質問** 新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大において、甚大な影響を受けている飲食業をはじめ宿泊業・観光業・旅行業はもとより、「それらに関わりのある業種」に対し、きめ細かい支援の取り組みをどのように実施するか伺います。

**答弁** 国や県独自の緊急事態宣言などの影響で売り上げが減少した事業者への支援金は、一義的には国もしくは県で適切に実施すべきものと考え、対象業種の拡大や給付要件の緩和、給

付額の増額などを国や県に要望していきます。その上で、支援が届きにくい業種には、国や県の動向を踏まえ、引き続き市独自の支援策を検討していきます。

このほか、支線型バス実証実験の検証結果、最低制限価格を決定する際のランダム係数の見直しについて質問しました。

**質問** 国や県独自の緊急事態宣言などの影響で売り上げが減少した事業者への支援金は、一義的には国もしくは県で適切に実施すべきものと考え、対象業種の拡大や給付要件の緩和、給

**答弁** 収束後に地域経済の早期回復のため、そこを加速させる施策が非常に重要で、その原動力はやはり家計消費の喚起と

このほか、公立保育所の障がい児保育、保育の質ガイドラインの活用、荖崎庁舎跡地の利活用、子どもの均等割り軽減補助、東海第2原発事故を想定した避難計画について質問しました。



川久保 皆実 議員

つくばチャレンジ チャレンジ



### 市民による環境美化の促進を!

**質問** アダプト・ア・ロード事業、アダプト・ア・パーク事業、環境美化活動支援事業について、①つくば市きれいなまちづくり行動計画に掲げる目標値を達成できない状況が続いている原因をどのように分析しているか、②その分析を踏まえ、各事業の目標値を達成するために、令和2年度以降に新たに始めた取り組みおよび今後始める予定の取り組みを伺います。

**答弁** ①各事業について、周知不足により新規参加者が想定

より増加していないこと、活動意欲の低下や新型コロナウイルス感染症の影響で継続参加者が減少していること、さらにアダプト事業については5人以上の団体という構成要件や各団体の高齢化も要因と考えています。

令和2年度にチラシによる周知を開始し、令和3年度には「つくば市緑の表彰」制度を創設しました。今後は、参加団体へのインタビューや活動状況をホームページに掲載するとともに、

活動団体表示板からQRコードでアクセスできるようにします。さらに、団体の構成要件の緩和や表彰制度の周知を図っていきます。環境美化活動支援事業については、令和3年6月に工業団地内企業への周知を行い、7社が活動を実施しています。今後は、新たな周知方法として区会回覧やSNSの活用、環境美化活動功労者の表彰、イベントでの参加申請受け付け、環境美化イベントの企画を行います。

このほか、七つの公立保育所の民間保育園への移行に関し、公募条件並びに民間移行による市の年間支出の減少額およびその用途について質問しました。



橋本 佳子 議員

日本共産党 つくば市議団



### 拙速な公立保育所整備(廃止)計画はストップ!!

**質問** 9カ所の保育所を1カ所は公立として残り、7カ所は統合・廃止、1カ所は在り方を検討する計画です。案の段階で

存続を望む保護者の声もある中、説明責任は果たしたとして案を外しました。公立を望む保護者

に対して、公立保育所の受け皿をどう確保するかという議論がありません。コロナ禍中で制限をかけた1回限りの保護者説明会では極めて不十分です。整備計画にとらわれず保護者の疑問や質問に答える場を持つべきで

す。見解をお聞かせください。

この整備計画の議論の出発点である、耐震基準を満たさない保育所が放置されていた状況を、まず応急処置をしたということですので、その上で、全てをいきなり建て替えられないので、どうすればスピード感もあり、かつ保育の質を担保しながら進められるか議論を重ね、社会福祉法人などを中心に行っていたら、地域の既存の公立保育所はきちんと残してまいります。



やまなか まゆみ 議員

日本共産党 つくば市議団



### 広範なPCR・簡易検査への補助で 市中感染拡大に歯止めを

**質問** 新型コロナウイルスの市中感染抑制のため、広範なPCR検査が必要です。いつでも誰でも何度でもPCR検査や抗原検査を行える体制を整えるため、陽性者数県内1位のつくば市として、市が検査費用を補助すべきと考えますが見解は。

**答弁** 感染急拡大の主な要因である変異株の封じ込めには、陽性者発生時に、厳密な濃厚接触者だけでなく、周囲の接触者への幅広いPCR検査実施が必要と考え、方策を検討しています。

市内医療機関でのPCR検査対応可能量には制約がある中で、感染の可能性の高い方が迅速かつスムーズに検査できるよう、定期的な検査の補助は慎重に検討したいと考えています。無症状の場合の隔離に使用しない抗原検査キットの、有症状ケースでの活用は進めたいと思っています。陽性者周囲のクラスター発生防止が極めて重要なので、保健所が濃厚接触と認定しなくても、周囲を幅広く検査、隔離することが非常に重要

と思います。保健所はキャパシティを超えた状況と思うので、市で可能な方法を検討しており、検査の特性に応じて使い分け、科学的に適切に行いたいと考えています。

**意見** 検査により外出抑止、早期治療につながるとして、神奈川県では抗原検査キットの無料配布を始めました。当市でも検査体制を整え、市民の外出自粛と早期発見・治療へつなげ感染拡大を抑えるべきです。

このほか、センタービルリニューアル、中根・金田台地域の学校建設、桜川の水門管理、児童館・児童クラブの役割について質問しました。



しおた ひさし 議員

山中八策の会



### つくば歴史館の建設について

**質問** 私たちは、市の歴史を未来に継承する義務があり、文化財や歴史的に価値ある文書などの収集・保存を通じて市の歴史遺産を子孫に引き継ぎ、市民が歴史を振り返り、未来を展望し、学び、憩い、交流する場が必要で、先人の苦渋の決断で土地を提供し生まれた筑波研究学園都市。6力町村合併で誕生したわがつくば市。その苦労や激動の歴史は、いつか風化し忘れられてしまいます。市の歴史をこれからも見守る歴史館の建

設を提案したいが、市の見解は。  
**答弁** 市の歴史を知る上で、6力町村合併に関する文書などや文化財は、貴重な歴史的資源です。市は、筑波研究学園都市建設、TX沿線開発事業、道路事業などで地方屈指の田園都市に発展してきましたが、開発以前は農業を主産業とする純農村地域で、このような郷土の歴史的経緯を後世に伝えることは、農業資源を次世代に引き継ぐ上で大変重要だと考えます。学校教育でも、市教育委員会発行の

社会科用副読本により、小学校で市の成り立ちを学習しています。一方、市内5力所の文化財展示施設では、平成30年度策定のつくば市文化財保存活用計画で、今後の施設の在り方や、新設、統廃合などの要否についての方針を検討するとしています。歴史的資料の収集・保存・公開の方策として歴史館整備もその一つと考えますが、学校、給食センター、市民プールの建設などが続く中、市で歴史館を建設する財源は非常に厳しい状況です。財政状況を踏まえ、市にとって文化財や歴史的価値のある資料などを保存・公開していく最適な手段を検討していきます。



やまもと みわ 議員

公明党つくば



### 自動車盗難最多のつくば、取り組み強化を

**質問** 茨城県の自動車盗難件数は821件で全国ワースト1。しかも平成28年から5年連続です。県内ではつくば市の発生数が139件で最多となっています。現状の認識と対策について伺います。自動車盗難を防ぐには、ハンドルロックや警報装置、防犯カメラや門扉設置など複数の防犯対策が必要です。荒川区では、個人の防犯対策品の購入や設置に対し、費用の一部を補助しています。市として取り組みを強化しなければならぬと

思います。いかがでしょうか。  
**答弁** つくば市内における自動車盗難については、令和2年中には県内最多の139件発生しました。市では、市民向け、広報つくば、区会回覧、市民窓口課の広告用モニターなどを活用し、自動車盗難防止の啓発を行うとともに、防犯・環境美化サポーターによるパトロールを実施して、犯罪などの抑止に努めています。また、令和3年度は、警察と協議の上、自動車盗難が発生している地域に防犯力

このほか、コロナ感染者生活支援、防災対策、避難行動要支援者の避難行動支援、子ども・子育て支援、部活動の地域移行、高校進学について質問しました。



こむら まさきみ 議員

創生クラブ



### 電子図書館の導入について

**質問** 市の電子図書館の導入についての考え方を伺います。

**答弁** 電子図書館の導入は、新型コロナウイルス感染症の拡大などで、非来館型サービスの提供を求める声が高まっていることから、効果的と考えています。市の図書館で導入するには、図書館向け電子書籍サービスを扱う企業と契約し、クラウド型サービスを提供することになります。クラウド型電子図書館は、図書館情報システムと連携させることで、来館せずに図書

を借り、貸出期限が過ぎると自動的に返却扱いとなります。個人のスマホやタブレットなどからインターネット経由でいつでもどこでも閲覧でき、文字の大きさ変更や音声読み上げ機能など、紙の書籍と比較して、利用者の利便性が高まります。図書館にとっても、資料の劣化や収蔵スペースの問題がなく、行政資料や図書館独自資料などを電子提供できるメリットがあります。一方、要望に応えられるタイトル数を整えるために相当額

メラの設置を予定しています。今後も警察や関係機関と連携を図り、他自治体の取り組みなども参考にしながら、自動車盗難の防止に努めていきます。



このほか、コロナ感染者生活支援、防災対策、避難行動要支援者の避難行動支援、子ども・子育て支援、部活動の地域移行、高校進学について質問しました。

**質問** コロナ禍で苦しい今、電子図書館をより早いタイミングで導入できませんか。  
**答弁** クラウド型電子図書館の導入には、現行の図書館情報システムの改修が必要のため、早期導入でのシステム改修の二重費用負担や、現行システム改修後の不具合の可能性を考慮、現行システム入れ替え予定の令和4年度導入を検討しています。このほか、市民説明会のオンラインでの実施について質問しました。



たかの 高野 文男 議員

創生クラブ



### 高崎学園内の危険な通学路の安全対策について

**質問** 国道6号バイパス工事が進み、牛久市遠山町・同市城中町間が令和4年に開通する見込みですが、6号バイパスと接続する同市の都市計画道路の城中・田宮線も年度内に県道谷田部・牛久線に接続し、走行車両が増加する見込みです。①現在のバイパス工事エリアでの通学路安全対策について伺います。

**答弁** 関係機関から情報を早めに入手し、学校や保護者などと情報を共有していきます。その上で、保護者を含めて学校と

相談し、通学路の変更や交通安全啓発看板の設置、誘導員配置の要望など、通学路の安全対策を進めていきます。

**質問** ②八街市の事故を受け、警察庁は全国の都道府県警察に緊急対策を踏まえた対応を发出しています。県道谷田部牛久線の高見原エリアの安全対策についてどのような対処を考えているか伺います。

**答弁** 安全対策として、学校や地域との情報交換を密にし、通学状況や工事の進捗状況を適



通学路の様子

宜把握することが大切です。その上で、警察による登下校時のパトロールやスピード違反の取り締まり強化、信号機設置、路面表示などによる運転者への注意喚起など、関係機関と連携し、児童生徒の安全確保のための対策を要望していきます。



なかむら 中村 重雄 議員

創生クラブ



### 市内ボランティア団体の組織強化と支援について

**質問** 市内には、数多くのボランティア団体が日々活動に励んでおり、また市が管理を行なっている事業に登録し、協力しているボランティア団体も多数あります。しかし近年、高齢化などの理由により、活動の継続が難しい状況にあると聞いています。そこでボランティア団体の活動状況と団体数の推移および支援について伺います。

**答弁** アダプト・ア・ロード事業は、道路の一定区域を養子に見立て、市民や企業が里親と

なって清掃、美化および緑化などの活動を行い、市は清掃用具、活動団体の表示板などの貸与やごみ袋、花苗などの支給、保険加入で活動を支援しています。令和元年度は20団体、令和2年度は18団体、令和3年度は20団体が登録しており、ほぼ横ばいとなっています。近年は、各団体とも高齢化が進み、活動意欲の低下や、新型コロナウイルス感染症の拡大により、参加者が減少してきています。森林ボランティア団体は、市



ボランティア活動の様子

が管理する筑波山の市有林および高崎自然の森で、五つの団体が市と森林整備に関する協定を締結し、活動しています。平成17年度に1団体、その後、平成24年度までに5団体となり現在に至っています。支援として、草刈り機の燃料や替え刃などの消耗品を支給しています。

このほか、つくばエクスプレス各駅前の安全対策、学校における安全対策について質問しました。



かねこ 金子 和雄 議員

新社会党つくば



### 道路行政および通学路の対策について

**質問** ①県道土浦・坂東線のつくば市と土浦市の境界付近の上広岡周辺では、現在、歩道の新設工事が進められていますが、現状と今後の事業の進め方について伺います。

**答弁** 県道土浦坂東線は、桜南小学校の通学路としても利用されていますが、歩道がなく、歩行者や自転車狭い路肩を通行し、大変危険な道路であったため、土浦市穴塚からつくば市上広岡までの約520区間をつくば市通学路交通安全プログラム

ラムに、拡幅および歩道設置路線として位置付け、茨城県土浦土木事務所が平成26年度から歩道設置工事に着手しました。南側の歩道設置工事は令和元年度に完了し、北側は令和3年度内の完成を目指しています。

**質問** 国道354号線の拡幅工事について、大角豆交差点から西大通り方面の拡幅工事は特に優先区間として対処されているのが現状ですが、事業の進め方について伺います。

**答弁** 国道354号は、学園

西大通り「稲荷前交差点」から学園東大通り「大角豆交差点」までの約2.5区間が、平成15年度に谷田部東拡幅整備事業として事業化されました。茨城県土浦土木事務所では、そのうち「大角豆交差点」から「梅園2丁目南交差点」までの約420区間を優先整備区間と位置付け、用地買収を進めてきました。令和2年度から用地取得が済んだ南側の道路改良工事に着手し、令和3年度は、引き続き一部取得できていない用地の買収および工事を進めるとのことです。

このほか、災害対策、新型コロナウイルスについて質問しました。



はまなか 浜中 勝美 議員

公明党つくば



### 少子化対策について

**質問** わが国では、2011年に人口が減少に転じました。つくば市は、現状県内でも数少ない人口が増加している自治体であり、面積が広く、人口増加は主として中心部やTX沿線地域に起きており、周辺地域においては少子・高齢化が進んでいます。地域別に出生数も違い、地域別の取り組みについても柔軟な対応が望まれると思

いますが、転入人口の増加や出生率向上を含め少子化対策、地域ごとの対応方針など市長の見

解を伺います。

**答弁** 今、TX沿線は人口増加傾向、周辺地域では逆に減少傾向があり、これは2030年までのつくば市未来構想の人口推計においても、この動きが加速していきます。市全体で安心して出産、子育てなどができる環境を整備するためにも、人口動態に対応した保育施設の充実や、子どもたちが学べる環境を用意していく必要があると考えています。周辺地域では少子化が進んでいますが、文化、歴史

自然環境という形で、少しずつ子育て世代の関心も向いてきている状況があると思います。その動きを加速させるため、市では、クラブライフという新しい言葉をつくり、新しい自分の仕事や生活を自分たちの手でつくり、少しでも収入を上げて地域の中で暮らしていく流れをつくるためのプロモーションを開始しています。地域全体もつながりが生まれてくるような周辺地域をつくるのが、二極化の解消につながっていくと考え、そういった施策を全力で推進していきたいと考えています。

このほか、ひきこもり支援について質問しました。



小野 泰宏 議員

公明党つくば



### 市民一人一人に適した情報の提供を望む

**質問** データで市民を豊かにするまちの推進の点から、検討中のデジタルプラットフォームの導入による地域との連携推進事業について伺います。

**答弁** 市民向け情報提供アプリによる地域との連携推進は、多様化した市民へ、個々が必要な情報の適時的確な発信が重要です。つくばスーパーサイエンスシティ構想でも多言語ポータルアプリとして、個々に応じたコンテンツ表示や情報のプッシュ通知などを計画し、つくば

「知らない」という市民との情報についての「溝」ができます。そのような観点から、この事業のメリットを伺います。

**答弁** さまざまな媒体で情報発信していますが、多様化する市民から、どこに知りたい情報があるか分からない、お知らせがあつたことを知らない、という御意見もあります。本アプリは、個々にパーソナライズした情報を適時的確に伝え、市民の利便性を向上し、市民参加を促進すると考えています。

このほか、つくば戦略プランの進行管理、行動科学の知見を活用する政策手法について質問しました。



塚本 洋二 議員

自民党政清クラブ



### 廃棄物行政について

**質問** つくば市一般廃棄物処理業許可基準について伺います。許可基準の中に「営業ナンバーの車輛を有すること」と記載があります。6月議会の答弁では「許可を出す際に速やかな緑ナンバー(営業用)の取得をお願いし、指導している」とありましたが、許可を受けた事業者に最初の許可日から約1年6カ月後に取得された例があります。「速やかに」とはだいぶ営業用取得までの期間が長いと感じますが市の考えを伺います。

**答弁** その業者に関しては、平成30年12月に申請があり、一般廃棄物処理業の収集運搬の新規許可取得時には、確かに営業ナンバーの車両を所有していませんでした。ただ新規ではそのようなことがありますので、許可後は速やかに取得するよう指導していたところです。

1年後の令和元年12月の更新時に、営業ナンバーはまだ未取得でしたが、関東陸運局に営業ナンバー取得の申請をしていたことをこちらで確認し、許可の



黒田 健祐 議員

つくば自民党・新しい風



### 子どもも親も楽しめる遊べる場の整備について

**質問** 第2期つくば市戦略プラン個別施策Ⅲ-1-③「子どもも親も楽しめる遊べる場の整備」について現在の取り組みを伺います。

**答弁** 子どもも親も楽しめる遊び場として、公園広場などの整備を進めてきました。TX沿線開発地域など土地区画整理事業区域内は、計画的に公園などが整備されてきましたが、周辺地区では気軽にに行けるような公園などが不足している現状です。中心市街地では、建設から30年

以上経過した公園もあり、つくば市公園施設長寿命化計画に基づき施設の更新や改修を進めています。さらに子どもたちが自己責任の下、想像力で工夫し遊びをつくり出すことのできるプレーパークを流星台地区に整備しました。現在、公園などで制限されている火器の使用や物品の販売に関しては、安全対策などの徹底を条件に許可するケースもあります。

児童館は、子どもも親も遊べる遊び場や地域交流の場として

遊戯室や図書室などを備えており、日々乳幼児を連れた親子や子育てサークルが利用しています。そのため児童館における子育て支援に関わる活動の推進を目的として、各児童館を拠点に活動している母親クラブに対して補助金を支給しています。

**要望** 第2期つくば市子ども・子育て支援プランでは引き続き高いニーズが示されていますので、子育て世代に選ばれるまちを推進するため関係各課が連携した対応を求めます。

このほか、産業振興、つくば市国民健康保険データヘルス計画(第2期)について質問しました。



飯岡 宏之 議員

自民党政清クラブ



### コーチング研修について

**質問** 職員のコーチング研修において、プロポーザルで決定した会社は市長が以前勤め、兄弟が元重役の会社であるが、選定委員7人のうち、6人が市の職員であること、プロポーザルの得点が高い会社より突出して高得点であることなどの理由、明らかに市民の不信を招くのではないかについて伺います。また、市民講座などで市が講師に払う謝金と比較し、この研修が何十倍もの高額である理由について伺います。

**答弁** コーチング研修は、価格のみならず事業者のコーチングの実施手法やフォロー体制、研修方法に関する豊富な見識および業務遂行能力が求められるため、事業者からの最適な提案を採用できるプロポーザル方式で選定しました。4事業者から提出された企画提案書を、令和3年8月2日の選定委員会審査し、評価点の合計が最も高かった事業者を選定しました。選定委員は、プロポーザルガイドラインで原則7名以上で構成

するとされており、外部委員の人数の定めは特にありません。プロポーザルにおける費用は、複数の事業者を確認した上で、本市が実施したい研修内容を履行するために必要な経費の上限として設定した金額であり、市民講座と職員研修では、性質が異なるので比較できるものとは考えていません。今回提案を受けた各事業者の提案金額を踏まえても、設定金額は妥当であったと考えています。

このほか、地域交流センター図書館、高エネ研南側未利用地の利用、センタービルリニューアル、市長の退職金1円条例について質問しました。



木村 清隆 議員

清郷会



野生鳥獣被害の現状と対策について

質問 市としてさまざまな取

り組みがされていますが、野生鳥獣による被害が大変深刻な状況です。①つくば市鳥獣被害防止計画、②ハクビシン・アライグマ・ミシシッピアカミミガメ被害、③空き家に害獣が住み着き繁殖が考えられることについての現状と対策を伺います。

回答 ①イノシン対策は、捕獲事業、緩衝帯整備支援、狩猟免許の取得補助を行っています。国・県の補助金を活用し、捕獲への報奨金交付や防護柵設置へ

の補助をしています。カラス対策は、令和2年度から猟友会に奨励金を交付しています。②アライグマは、法により市職員が回収し、県へ引き渡します。対策として、今年度箱ワナを17基から31基に増やし貸し出ししています。箱ワナ購入の助成も検討します。また、県や市で防除従事者講習会を開催し、令和2年度11名、令和3年度8月末で34名に従事者証を交付しました。法で許可なく捕獲できないハクビシンは、防護ネットや電気柵

などへの助成などを関係機関と協議していきます。間違っても捕獲した場合は速やかに自然の多いところに放してください。ミシシッピアカミミガメの被害報告はありますが、市内の状況把握に努め、近隣自治体との情報交換を進めます。③所有者などに文書で適切な管理を依頼し、改善されない場合は訪問での助言・指導をします。また、市ホームページや市報、パンフレットで啓発していきます。

要望 ムクドリ大群などによる被害対策対応を要望します。

このほか、ICT教育とオンライン授業、小中学校の特別教室におけるエアコン整備について質問しました。



小森谷 さやか 議員

つくば・市民ネットワーク



特に10代のコロナワクチン接種は慎重に

質問 20代をピークに新型コロナウィルス感染症が広がっています

ますが、10代以下の健康な方で死亡者はいません。一方、ワクチン接種による10代の重篤な副反応の報告は医療機関からは44件、企業からは161件で、特に10代以下はリスクを慎重に見極める必要があると考えます。いかがでしょうか。

回答 10代に対するワクチン接種については、メリットとデメリットを本人と保護者が十分に理解した上で接種を検討し、

接種する際にはその前後におけるきめ細やかな対応が大切です。特に、基礎疾患を有する子どもについては、本人の健康状態をよく把握している主治医と保護者との間で接種後の体調管理などを事前に相談することが大切であると考えます。なお、学校において接種の有無による差別が発生することも考慮して、集団接種ではなく、個別接種を進めていきます。

質問 昨年の法改正で、ワクチン未接種者への不利益を取り

このほか、自宅療養者への支援やオンライン授業、教師の働き方改革について質問しました。



あさの えくこ 議員

つくば・市民ネットワーク



要支援者の「個別避難計画」作成は丁寧

質問 気候変動が年々厳しさを増し、いづこで災害が起

るか分からない今、「避難行動要支援者」の安全確保は喫緊の課題です。今年5月、災害対策基本法が一部改正され「個別避難計画」作成が「努力義務」になりました。面談での計画策定は、コロナ対応による郵送での策定を含む1040人を除いた、残り395人の想定なのか、今後の進め方を伺います。

回答 今年5月改定の避難行動要支援者の避難行動支援に関

する取組指針で、要支援者の状況などをよく把握しているケアマネジャーなどの福祉専門職の参加が極めて重要と追加されたため、計画の策定が既に完了した方の再確認も含め、ケアマネジャーなどの活用を今後検討していきます。避難支援は、他の自治体の取組状況を参考に、福祉専門職や民生委員の協力を得つつ、最終的に市の職員が直接訪問するなどの重層的な考え方で今後進めたいと考えています。

質問 避難計画作成の際に必

要な「タイムライン」の、市民目線での作成予定を伺います。

回答 市で、タイムラインは作成していますが、河川ごとではないので、河川ごとに作成したの提供は可能と思っています。質問 車中避難についての市の方針は。

回答 開設した避難所の駐車場での中避難も可能です。車中避難をする方の受付時にリストバンドなどを配布し、トイレの利用などは、避難所内で過ごす方と同様に対応していきたいと考えています。

このほか、今年から大きく変更になった小中学校の英語教育の接続について質問しました。



皆川 幸枝 議員

つくば・市民ネットワーク



旧荃崎町の水道施設の撤去について

質問 市長公約「上水道整備後の簡易水道施設の撤去について

地域との検討を推進」について、進捗状況を伺います。

回答 上水道整備後の自治会

などが所有する簡易水道施設の撤去などは、施設所有者が行うことであり、市の役割は施設撤去を含む適正な維持管理のため、指導助言を行うことと考えています。市としても、跡地利用のための施設撤去や土地の売却・譲渡などを検討してきましたが、有効な解決方法が見つ

かっていないため、自治会などと協議していない状況ですが、指導・助言に努めていきます。

質問 合併時の新市計画では、

合併特例債などを活用して357の事業が計画され、つくば駅前広場再整備事業や、ふれあいプラザ、荃崎運動公園などの建設事業が実施されました。しかし、旧水道施設撤去などの事業が実施されていない中、昨年の選挙で市長が旧水道施設撤去を掲げ、住民は大変期待しています。市長の考えを伺います。



旧荃崎町の水道施設

回答 当該施設用地は、景観や安全面、土地の有効利用の面からも現状のまま放置することはないと考えています。市が直接撤去するに課題もありますが、用地は市所有となっているので、経緯や今後の管理、利用なども合わせて、どういう形で施設の撤去ができるかを検討していきたいと考えています。

このほか、市民参加推進に関する指針について質問しました。



かわむら なおこ 川村 直子 議員

つくば・市民ネットワーク



### 地域交流センターを地域コミュニティの拠点に

【質問】 公民館が地域交流センターとなり10年。つくば市地域交流センター基本計画の設置目的に地域コミュニティの活性化と市民との協働によるまちづくりを推進とありますが、どう実施し、何が課題か伺います。

【答弁】 地域交流センターにおけるコミュニティ活動の活性化、市民との協働によるまちづくりは、施設を地域内交流の用に供することや、施設をまちづくりに係る活動の用に供することなどで実施しています。施設利用

は各種サークル活動だけでなく、地域団体、ボランティア団体やPTAなどの活動拠点として認知・利用され、コミュニティ活動に寄与していると考えます。一方、利用団体が交流するための利用者協議会では、利用者アンケートの結果、設置を希望する意見は少数で、機運や関心が高まっておらず、地域課題解決のための講座を企画しても参加者が集まらないなど、市民ニーズの把握が課題となっています。

【質問】 ロビーでお茶を飲み交

流できる居場所づくりが荃崎交流センターで進行中です。他の交流センターでもできませんか。  
【答弁】 地域交流センターのロビーは大きくなく、待合スペースや休憩スペースとして利用しています。一部スペースの余裕がある地域交流センターでは、運用主体となる方々の募集方法や利用方法、貸し出しのルールなどの制度設計が必要であり、今後検討を進めていきます。

【要望】 地域コミュニティ推進は、八つの部署が担当し、職務分担や責任の所在が曖昧なため、基本計画に沿うよう初心に戻り、見直してください。

このほか、男女共同参画の推進について質問しました。



傍聴される方へのお願い

- ▶ 必ずご**自宅**で検温をお願いします。発熱・咳などの症状がある方や体調の優れない方は傍聴をご遠慮いただくようお願いします。
- ▶ **マスクの着用**をお願いします。
- ▶ 傍聴受付の**消毒液**を活用してください。

▲ 当面の間、傍聴できる人数は、**24名まで**とさせていただきます。



市議会 ページ

議会中継映像配信

- ▶ 本会議（定例会・臨時会）の開催時間は生中継をご覧ください。
  - ▶ 本会議開催日ごとに、3日後（休日を除く）から録画映像を視聴することができます。
- ※ 委員会は配信していません。



録画放映 ページ

#### 広報広聴委員

委員長	黒田 健祐
副委員長	高野 文男
委員	小村 政文
委員	宮本 達也
委員	山中 真弓
委員	神谷 大蔵
委員	皆川 幸枝
委員	山本 美和

議会事務局議会総務課 029-883-1111 (内線 6110・6120・6130)

## 第2回臨時会

令和3年7月28日に開催し、承認1件、議案3件を審議しました。

### 討論

【議案第105号】 つくば市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

#### 原案可決

【反対討論】 条例改正に至った大本の法律改正は、デジタル化を利用してあらゆるデータを集積しながら、行政が持つ膨大な個人情報や企業などが活用しやすい仕組みにする改定の一つと言え、個人情報保護のシステムが未整備な日本ではさまざまな危険が孕んでいる。今回の条例改正は大本の法律の条項追加による番号ずれというが、法律に準じて条例が運用されているため、市の業務にも影響が出る。市は個人情報の匿名化条項も未整備である。日本共産党は、保護システムが確立されていない中で個人情報のデジタル化、情報の一元化、行政および民間サービスも含めた個人情報の連携を進めていくことには反対する。

#### 賛成討論

この条例改正は、今年5月に国会で「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」が成立したことに伴うもので、マイナンバーの利用範囲をさらに拡大させるものである。マイナンバーの利用拡大は利便性の向上が図られるというメ



▶ 詳細はこちら

### 令和3年第2回臨時会議案等議決結果一覧

報告案件	
【報告第14号】 専決処分事項の報告について	
案件名	議決結果
【承認第4号】 専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第11号）	承認
【議案第105号】 つくば市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第106号】 工事請負契約の締結について	原案可決
【議案第107号】 工事請負契約の締結について	原案可決

### 令和3年第2回臨時会議員賛否一覧（議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。）

議案等番号	つくば自民党・新しい風					自民党清クラブ					つくば・市民ネットワーク			公明党つくば		創生クラブ		日本共産党つくば市議団		つ	清	山	新					
	長塚 俊宏	黒田 健祐	神谷 大蔵	小久保 貴史	五頭 泰誠	ヘイズ ジョン	久保谷 孝夫	宮本 達也	木村 修寿	塚本 洋二	飯岡 宏之	鈴木 富士雄	川村 直子	あさの えくこ	小森谷 さやか	皆川 幸枝	山本 美和	浜中 勝美	小野 泰宏					小村 政文	中村 重雄	高野 文男	山中 真弓	橋本 佳子
議案第105号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○
議案第107号	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	除	欠	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○

※ 「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「除」は除斥。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わりません。

※ 会派名（議席番号順） つ=つくばチェンジチャレンジ 清=清郷会 山=山中八策の会 新=新社会党つくば

予算決算委員会審査

令和2年度  
決算認定

9月定例会で付託された補正予算などに加え、令和2年度一般会計歳入歳出決算認定、各特別会計歳入歳出決算認定、令和2年度水道事業会計未処分利益剰余金処分および決算認定を審査するため、予算決算委員会および各分科会を開催しました。

会計名		歳入	歳出
【認定第1号】 一般会計		1,255億2,353万869円 前年度比34.9%増	1,205億3,098万3,886円 前年度比36.3%増
特別会計	【認定第2号】 国民健康保険	180億5,755万7,503円 前年度比5.8%減	173億7,596万5,044円 前年度比8.0%減
	【認定第3号】 後期高齢者医療	21億7,157万5,711円 前年度比13.9%増	21億6,686万8,168円 前年度比14.2%増
	【認定第4号】 作岡財産区	7万6,239円 前年度比36.5%減	1,840円 前年度比95.8%減
	【認定第5号】 公平委員会	134万5,114円 前年度比9.2%増	34万633円 前年度比62.9%減
	【認定第6号】 介護保険事業	141億1,202万6,775円 前年度比3.0%増	137億3,653万6,949円 前年度比2.5%増
【認定第7号】 下水道事業会計	収益的収入および支出 101億3,297万9,194円	102億1,304万8,189円	
【議案108号】 水道事業会計	資本的収入および支出	22億4,494万686円	50億1,540万3,026円
	収益的収入および支出	59億3,235万7,811円	51億2,490万1,663円
【議案108号】 水道事業会計	資本的収入および支出	14億4,504万8,890円	31億9,577万1,271円

議案詳細



総務分科会

【認定第1号】令和2年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

質疑 総務費 ワークライフバランス推進に要する経費に関して、RPAやAI-OCRについての成果と課題について

【答弁】令和2年度の実績は令和元年度より5部署増えて、年間27部署となった。導入効果を時間換算すると、3465時間削減されている。課題は、コロナ禍において密になりやすい操作研修を行うことが難しく、作成のできる職員数の増加が鈍化している点である。これに関しては、組織開発推進室と連携して、業務自動化を担える職員の育成をしていこうと考えている。

質疑 総務費 SDGs(持続可能な開発目標) 推進に要する経費に関して、SDGs未来都市計画の進捗評価、2021年度から2023年度までの次期計画のポイントについて

【答弁】2019年度の評価であるが、取り組みの進捗評価KPIも丁寧に検討されており、個別の取り組みには前進がみられるとの評価を受けている。計画更新のポイントとしては、SD

文教福祉分科会

【認定第3号】令和2年度つくば市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

質疑 後期高齢者医療広域連合納付金 後期高齢者医療広域連合納付金事務に要する経費に関して、徴収員訪問による222件の徴収での状況把握や徴収の流れについて

【答弁】令和2年度分の保険料の納期が遅れている被保険者に督促状を送り、その後催告書を送付、それでも納付されない場合に電話や訪問を行い、生活状況などを確認した上で相談を受けて納付を促し、対応可能な金額で納付していただいている。

【認定第6号】令和2年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

質疑 地域支援事業費 高齢者の居場所づくりに要する経費に関して、高齢者憩いの広場活動支援事業での団体の認定要件と補助額、憩いの広場の周知方法について

【答弁】1回の開催におおむね5人以上の市民である高齢者が参加し、市内で定期的な介護予防活動を行うことが要件である。

補助額は週1回で年間5万円、週2回で年間15万円、週3回で年間30万円とし、初年度のみ準備経費として同額の補助がある。連絡先が個人の電話番号であるため、分かりやすい周知はしておらず、問い合わせがあれば近くの憩いの広場を案内している。

【議案第109号】令和3年度つくば市一般会計補正予算(第4号)

質疑 教育費 給食センター管理運営に要する経費に関して、調理補助員等派遣手数料について

【答弁】令和3年度で会計年度任用職員を4人募集したが、2人不足しており、探しても応募者がいないので、人材派遣で対応するために計上している。近隣自治体に比べてつくば市の時給が一番高いが応募はなく、県内でも71%が委託をしている。人数不足を現行の他の給食センターで賄うことも厳しい。

意見 今年度の補正予算は仕方ないが、技能労務職員を雇用せずに必要な職種を会計年度職員として1年ごとに雇用することへの問題提起として、来年度からの債務負担行為には賛成できない。



\* RPA: 人間がコンピュータ上でやっている定型作業をソフトウェア型のロボットで自動化すること。

\*\* AI-OCR: 手書きやプリントされた文字を読み取り、電子データ化する技術に人工知能が組み込まれ、さらに高精度となったもの。

市民経済分科会

【認定第1号】 令和2年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について **決**

【質疑】 総務費 戸籍住民基本台帳事務に要する経費に関して、委託料を繰越明許費とした理由について

【答弁】 デジタル窓口分であり、転入届などを窓口で申請書を書く代わりにスマホなどで入力できるシステムについて、昨年12月に補正予算で予算化し、今年3月に事業者が決定したが、昨年度中にシステム導入が完了しなかったため、繰越明許を行った。

【質疑】 商工費 新型コロナウイルス感染症対策観光支援に要する経費に関して、早期から影響を受けている市内宿泊事業者29件に対し、給付金の支給について、早期から影響を受けているかどうかの基準をどのように設定したのか

【答弁】 新型コロナウイルスが全国急拡大した令和2年2月から4月の期間の売り上げと、その影響がなかった前年同月期の売り上げを比較し、一月でも売り上げが20%以上減少した月があった事業者を支給対象とした。

【意見】 コロナ禍で負の連鎖が生じている中で、自らの努力ではどうすることもできないのが現状である。地場産業を守るべく、努力をしている人が報われる世の中にするには、行政が温かい手を差し伸べなければならぬ。来年度の予算要求に当たっては、そのような事業者への支援、コロナが収束すればV字回復のための事業を検討してほしい。

【議案第109号】 令和3年度つくば市一般会計補正予算(第4号)

【質疑】 商工費 ジオパーク中核拠点施設整備事業に要する経費370万円の減額理由について

【答弁】 筑波山地域ジオパーク中核拠点施設の整備を進めるため、ジオパーク室では、旧筑波東中学校の建物改修設計の委託料を当初予算に計上した。その後、サイクルコミュニティ推進室でも旧筑波東中学校を利活用した自転車拠点の整備計画が進み、建物改修設計の委託料を独自に計上した。同じ建物で改修設計業務を行うため、ジオパーク室とサイクルコミュニティ推進室の予算を公共施設整備課に令達し、一事業として進めることになった。当初予算でそれぞれ計上した予算を、使用面積で按分することになり、補正を行った。

都市建設分科会

【認定第1号】 令和2年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について **決**

【質疑】 土木費 河川維持管理に要する経費に関して、小貝川排水樋管操作点検の委託契約について

【答弁】 つくば市は、本事業発注者である国土交通省関東地方整備局下館河川事務所および各操作員の双方と契約を結んでいる。下館河川事務所との委託契約では、市は下館河川事務所に通管操作、点検の報告などを行っている。操作員との委託契約では、操作員を小貝川の地元住民の方々に委託し、通管操作設備の日常管理や、小貝川が増水した際の樋門、樋管のゲートの開閉をいただいている。委託費用については、市が年間委託費分を下館河川事務所に請求し、下館河川事務所から負担金として市に歳入があり、その後、市が各操作員に支払いを行っている。

【質疑】 土木費 周辺市街地振興に要する経費に関して、令和元年度および令和2年度に実施した「つくばR8地域活性化プランコンペティション」を今年度は実施しない理由について

【答弁】 これまでに九つのプランが採択されており、実施する地域の負担も考慮して、これ以上プランを増やすのではなく、プラン採択者が継続的に地域と関わり、地域活性化に貢献していくように支援していくことを考えている。具体的には、各周辺市街地活性化協議会とコンペ採択者が一堂に会する「つくばR8ネットワーク会議」を開催し、地域間や採択者との連携を促進して組織を強化していきたい。

【議案第109号】 令和3年度つくば市一般会計補正予算(第4号)

【質疑】 衛生費 粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する経費の粗大・不燃ごみ最終処分委託料について

【答弁】 現在、サステナスクエア敷地内に保管しているスプリンクラーマットレスの処理を市内の処理業者に委託しているが、年間2000枚以上の搬入があり、処理しきれないことから、新たに市外の処理業者に委託するため補正予算を計上した。



予算決算委員会

【認定第3号】 令和2年度つくば市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について **決**

【反対討論】 75歳以上を別立てにする制度自体に反対の立場から、一刻も早く高齢者が安心して医療が受けられる体制を求める。

【賛成討論】 後期高齢者医療制度は、現役世代と高齢者世代の医療費負担を明確化し、制度運営を県単位で行い、財政の安定化を図ることを目的としており、令和2年度も高齢者が安心した生活を送ることができるよう各事業を適切に執行されたものと考えられる。

【認定第6号】 令和2年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について **決**

【反対討論】 制度自体に大きな問題を抱える中、施行から20年を迎え、高齢者の尊厳を奪う制度の抜本的な見直しを求める。

【賛成討論】 介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして定着してきており、介護ニーズが増大する中、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、令和2年度も制度の安定的な運営に努めてきたことが伺える。

【議案第109号】 令和3年度つくば市一般会計補正予算(第4号)

【意見】 今年度の茎崎学校給食センター調理員の派遣業務に関しては、緊急的に依頼するという点において、子どもたちの安全、安心な給食の提供に怠りがあったが、来年度から3年間の債務負担行為の設定には反対である。

議案第109号に対し修正案が提出されました。

提出者	川村 直子 委員 皆川 幸枝 委員 あさのえくこ委員 小森谷さやか委員	結果
	採決	
議案第109号 修正案	【債務負担行為補正】 令和3年度茎崎学校給食センター調理業務派遣手数料 自 令和4年度 至 令和6年度 94803千円 の削除	否決

委員会審査

総務委員会

【議案第119号】 つくばイノベーションプラザ条例を廃止する条例について

▼審査結果 可決すべき

反対討論

つくばセンタービルリニューアル計画の再検討を求め、要望書が提出され、構造変更することにより歴史的建造物に支障が出ると聞いており、この条例案は時期尚早と考える。

賛成討論

つくばイノベーションプラザが入っている場所に関しては、つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会でも十分に議論を重ねており、新しく整備するためには、つくばイノベーションプラザ条例の廃止が必要と考える。

文教福祉委員会

【請願3第7号】 加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設を求める請願書

▼審査結果 趣旨採択とすべき

【質疑】 他市の状況、事業実施時の予算の見通しについて

【答弁】 同趣旨の陳情を採択した近隣2市は事業化に至っており、茨城県総合健診協会実施の

9月定例会にて、3常任委員会に付託された議案など13件を審査するため、委員会を開催しました。

議案詳細



38市町村の健康診断では聴力検査を実施していない状況である。予算については、対象者数が分からないため補助の試算はできない。聴力検査を全員に実施する場合は、基本健診受診者で177万6千円、特定健診受診者で722万1千円、後期高齢者受診者で437万1千円が見込まれる。

【意見】 補助制度は理解できる部分もあるが、対象者数は不明であり、他の機器もあることから、趣旨は分かるので趣旨採択が妥当である。

【意見】 他市の状況を調べたところ、年齢制限や所得制限を設けている自治体が多いが、65歳以上の人口が本市と同程度の市や3倍程度の市の状況から、条件次第では予算的に可能と考えられる。対象者の線引きを研究し、趣旨をくみ取って何かしらの事業・施策に生かす必要がある。

【請願3第8号】 つくば市内に、全日制県立高校を早急に設置すること、及び、進学環境の充実を求める意見書採択の請願書

▼審査結果 採択すべき

【意見】 本件が市民側から提出されたのはありがたく、市として

も要望しており、共通課題であり支持したい。

【意見】 本件についてはこれまで問題意識を持ってきたものであり、同じ思いで県などへしっかりと要望していきたい。

都市建設委員会

【議案第123号】 工事請負契約の締結について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】 工事の内容について

【答弁】 現在施工中の(仮称)研究学園小・中学校の拡張グラウンド整備工事であり、学校の西側に位置し、整備敷地面積は1万7498.05平方メートルである。工事概要としては、野球場、テニスコート2面、職員および来校者用駐車場約100台分、外周道路約300メートル、擁壁、フェンス類の一式工事である。

【質疑】 拡張グラウンドと小・中学校とのアクセスについて

【答弁】 道路を挟んで高低差があるため、階段を用いてアクセスする予定である。また、拡張グラウンドにはスロープも設置する予定である。

議案等審議

【認定第6号】 令和2年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定

【反対討論】 介護施設の施設や、利用状況の拡大が介護保険料に反映されるため、介護の環境を整え、市民の負担になるというシステムにより、低所得層の介護保険料の収納率は80%台となっている。分納しなければ、介護を受ける際に全額負担しなければならず、低い年金から分納することは容易いことではない。さらに、コロナ禍の中、ケア労働の重要性が改めて問われることとなった。介護現場の働く権利と尊厳、高齢者の尊厳を奪う介護保険制度の根本的な見直しを求めるとともに、自治体独自の軽減措置を取ることを求める。

【賛成討論】 少子高齢化が全国で進展する中で、地域全体で高齢者を見守り、支えていく体制の強化の必要性がますます高まっている。介護保険制度についても、適時見直しがされており、財源や負担の論点もバランスを重要視しながら進めており、高齢者や介護者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で安全で安心して生活ができるよう、介護保険制度の安定的な運営に努めてきたことが認められる。

【議案第119号】 つくばイノベーションプラザ条例を廃止する条例について

原案可決

【反対討論】 つくばイノベーションプラザ条例の今回の廃止は、センタービルリニューアル計画に伴う条例廃止である。市民意見を広く聞くための説明会も行わずに作られ、そして歴史的建造物であるセンタービルに手を加える改修計画には反対である。さらに、4月から工事が始まるわけでもないのに、4月からイノベーションプラザが使えなくなることも理解できない。イノベーションプラザの入居者は4月から路頭に迷うことになり、入居施設を必死に探している状況である。

【賛成討論】 本条例の廃止は、令和4年度から行われる予定のつくばセンタービルは、建築から38年が経過し、社会情勢や周辺環境の変化により顕在化してきた課題に対応するため、市民活動や市民生活を支える新たな拠点整備として、リニューアルが計画されている。早期に新たな拠点を整備するためには、つくばイノベーションプラザを閉鎖することは避けられず、リニューアル後は、市民サービスの向上が見込まれる。

お詫びと訂正

つくば市議会だより第167号の一部に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正いたします。

【2P】 一般質問(山中真弓議員)上から3段目5行目 「要望」のアイコンと枠(水色)のずれ。

このほか、民間路線バスなどの高齢者運賃割引、児童発達支援センター、公立保育所、フリースクールについて質問しました。

【10P】 議会報告会回答 4つ目の質問への回答

訂正前) 通知書には、除草を行う期限を記載し、その通知に従わない場合は、催告書を送付します。訂正後) 通知書を複数回送付しても従わない場合は、除草を行う期限を記載し、催告書を送付します。

修正後

で、任用や勤務条件、給与などの条例や規則も整備するなど課題が大きく、国や県への教員配置改善の要望を考えています。 奈良県河合町では、町独自の施策で「原則として通常学級の生徒数に特別支援学級の生徒も含む」とし、令和3年度町独自で2名の講師を配置しています。後日、その予算が特別臨時交付金に振り返られたので、つくば市でも可能だと思えます。コロナ禍のリスクを減らすためにも早急な対応を要望します。

Q 空き地の適正管理と条例についてお聞かせください。

A 空き地の雑草管理については、「つくば市空き地除草条例」により管理されています。空き地の管理は、区域によって手順がやや異なります。住民の方から問い合わせや依頼があった場合、市街化区域では職員が現場確認を行い、写真を撮ります。土地の所有者に写真とともに除草依頼の通知を出します。すぐに対応されない場合は、通知を2〜3回送付します。通知書には、除草を行う期限を記載し、その通知にも従わない場合は、催告書を送付します。おおむねこの段階までで除草を行ってくれることがほとんどです。催告にも従わない場合は、命令書を通知します。市街化調整区域では、通知書までしか出せないそうです。草刈り道具を持っていない、近隣に居住していない場合は、市から業者を紹介してもらえます。

## 令和3年9月定例会議案等議決結果一覧

報告案件	案件名	議決結果
【報告第15号】 令和2年度つくば市一般会計継続費精算について	【議案第118号】 つくば市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	原案可決
【報告第16号】 令和2年度つくば市健全化判断比率及び資金不足比率について	【議案第119号】 つくばイノベーションプラザ条例を廃止する条例について	原案可決
【報告第17号】 公益財団法人つくば文化振興財団の経営状況を説明する書類について	【議案第120号】 市道路線の認定について	原案可決
【報告第18号】 一般財団法人つくば国際交流協会の経営状況を説明する書類について	【議案第121号】 市道路線の廃止について	原案可決
【報告第19号】 専決処分事項の報告について	【議案第122号】 市道路線の変更について	原案可決
【報告第20号】 専決処分事項の報告について	【議案第123号】 工事請負契約の締結について	原案可決
【報告第21号】 専決処分事項の報告について	【議案第124号】 財産の取得について	原案可決
【報告第22号】 専決処分事項の報告について	【議案第125号】 財産の無償譲渡について	原案可決
	【議案第126号】 令和3年度つくば市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
	【議案第127号】 財産の取得について	原案可決
【認定第1号】 令和2年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について	【認定第2号】 令和2年度つくば市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
【認定第2号】 令和2年度つくば市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	【認定第3号】 令和2年度つくば市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
【認定第3号】 令和2年度つくば市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	【認定第4号】 令和2年度つくば市作岡財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
【認定第4号】 令和2年度つくば市作岡財産区特別会計歳入歳出決算認定について	【認定第5号】 令和2年度つくば市等公平委員会特別会計歳入歳出決算認定について	認定
【認定第5号】 令和2年度つくば市等公平委員会特別会計歳入歳出決算認定について	【認定第6号】 令和2年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
【認定第6号】 令和2年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	【認定第7号】 令和2年度つくば市下水道事業会計決算認定について	認定
【認定第7号】 令和2年度つくば市下水道事業会計決算認定について	【議案第108号】 令和2年度つくば市下水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決 および認定
【議案第108号】 令和2年度つくば市下水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	【議案第109号】 令和3年度つくば市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
【議案第109号】 令和3年度つくば市一般会計補正予算(第4号)	【議案第110号】 令和3年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
【議案第110号】 令和3年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	【議案第111号】 令和3年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
【議案第111号】 令和3年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	【議案第112号】 令和3年度つくば市等公平委員会特別会計補正予算(第1号)	原案可決
【議案第112号】 令和3年度つくば市等公平委員会特別会計補正予算(第1号)	【議案第113号】 令和3年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
【議案第113号】 令和3年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	【議案第114号】 令和3年度つくば市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
【議案第114号】 令和3年度つくば市下水道事業会計補正予算(第1号)	【議案第115号】 つくば市職員の旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第115号】 つくば市職員の旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例について	【議案第117号】 つくば市医療福祉費支給条例の一部を改正する条例について	原案可決
【議案第117号】 つくば市医療福祉費支給条例の一部を改正する条例について		

案件名	議決結果
【諮問第1号】 人権擁護委員候補者の推薦について	適任
請願	
【請願第3第6号】 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採択
【請願第3第7号】 加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設を求める請願書	趣旨採択
【請願第3第8号】 つくば市内に、全日制県立高校を早急に設置すること、及び、進学環境の充実を求める意見書採択の請願書	採択
意見書・決議	
【意見書案第6号】 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	原案可決
【意見書案第7号】 つくば市内に全日制県立高校を早急に設置すること及び進学環境の充実を求める意見書	原案可決
【意見書案第8号】 つくば中央警察署跡地を拙速に処分しない事を求める意見書	原案可決
【意見書案第9号】 中華人民共和国による新疆ウイグル、チベット、内モンゴル等自治区への人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書	原案可決

※議案第116号は市長からの申し出により撤回





議案の審議状況  
と議決結果



請願一覧



意見書・  
決議一覧

詳細はQRコードからご覧いただけます。

### 令和3年9月定例会議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。)

議案等番号	つくば自民党・新しい風					自民党政清クラブ					つくば・市民ネットワーク			公明党つくば			創生クラブ			日本共産党つくば市議団		つ	清	山	新				
	長塚俊宏	黒田健祐	神谷大蔵	小久保貴史	五頭泰誠	ヘイズジョン	久保谷孝夫	宮本達也	木村修寿	塚本洋二	飯岡宏之	鈴木富士雄	川村直子	あさのえくこ	小森谷さやか	皆川幸枝	山本美和	浜中勝美	小野泰宏	小村政文	中村重雄					高野文男	山中真弓	橋本佳子	川久保皆実
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第118号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第119号	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
意見書案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「×」は反対。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わりません。  
 ※ 会派名(議席番号順) つ=つくばチェンジチャレンジ 清=清郷会 山=山中八策の会 新=新社会党つくば

予算決算委員会

令和2年度の決算審査で選定した市の事業に対する政策提言を、令和4年度の事業へつなげます！

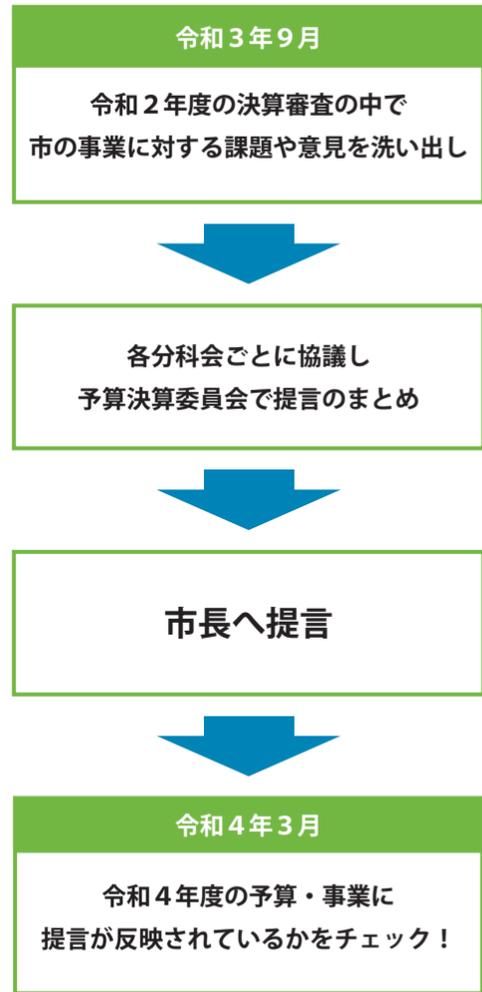
市の予算は使って終わりではありません。市長は予算がどのように使われたかを「決算」にまとめ、議会に議案として提出します。議会は、予算の使われ方が適正であったか、十分な効果を上げられたかなどを審査します。そして本年より「今後の施策に反映させる」ために、その結果を「提言」として市長に提出することとしました。来年3月の予算審査の際には、議会からの提言が反映されているかをチェックしていきます。これを「政策サイクル」と言います。つくば市議会では、議会からの政策サイクル構築の第一歩として予算決算審議の改革を行っています。

予算決算委員長 山本 美和
副委員長 黒田 健祐

分科会ごとに選定した事業

文教福祉分科会: 不登校児童生徒学習支援事業
総務分科会: SDGs推進事業, RPA, AI-OCR等の活用による業務効率化推進事業, 財政調整基金
都市建設分科会: 地域拠点活力共創マネジメント事業(周辺市街地振興), ごみ分別アプリ事業
市民経済分科会: 新型コロナウイルス感染症経済対策に要する経費, 新型コロナウイルス感染症対策観光支援に要する経費

決算審査から予算編成チェックまでの流れ



予算決算委員会の様子



研修の様子

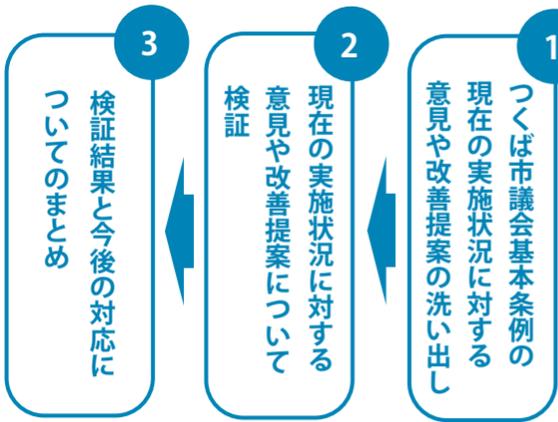
議会運営委員会

つくば市議会基本条例の検証を行いました！

つくば市議会基本条例の検証について

つくば市議会では、平成27年4月に「つくば市議会基本条例」を定めました。この条例は、公平、公正、透明な議会運営を図り、市民福祉の向上と市政の発展に寄与することを目的として、その実現に向けた議会の責務や活動の原則などを定めています。

検証方法



検証結果

指摘が多くかつ緊急性・有効性が高いことから、先に「議会BCPの策定」を行い、次に「通年議会の導入」について、協議を行っていく。また、早期に着手可能な事項については、適時対応をしていく。

検証体制

- 議会運営委員会委員(8人): 委員長 小野 泰宏, 副委員長 五頭 泰誠, 委員 小村 政文, 小森谷 さやか, 黒田 健祐, 神谷 大蔵, 塚本 洋二, 鈴木 富士雄
オブザーバー(2人): 正副議長 小久保 貴史, 皆川 幸枝



議会運営委員会の様子